

「みんなのマーケット」プロジェクト ～たかくら福祉共生ステーション運営事業～

◆目的

○南区高倉台にある一時休止中のミニスーパー店舗を活用し、ミニコンビニ等の開設及び見守り活動、就労支援等を実施し、総合的な福祉サービス拠点となりえる地域ぐるみのマーケットプロジェクトを展開することによって、買い物弱者の減少や高齢者などの安全・安心な生活環境の実現をめざす。

◆これまでの経過（高倉台近隣センター）

昭和 47 年 4 月 高倉台まち開き
平成 11 年 丸高ストア閉店
平成 16 年 4 月 スーパー愛彩館閉店
平成 20 年 3 月 25 日 有料老人ホーム 1 階部分にオール・ワン高倉台店オープン
平成 26 年 3 月 29 日 オール・ワン一時休止
平成 26 年度～ 公募提案型協働推進事業採択

◆事業内容

○就労支援の場の開設
○サロン機能を持ったミニコンビニによる物販
○高齢者の見守り及び配食、日用品配達サービス

◆取組状況（実績）

○NPO法人、社会福祉法人、市場連合会、校区福祉委員会など多様な団体が毎月 1 回、連絡会議を実施し、状況の確認及び方向性を協議しながら事業を推進。
○高齢者への配食サービスとして、店内で弁当の販売及び配食受付を実施。
○就労支援の場として、知的障害等の方 4 名が当店舗の運営業務を通じた就労訓練を実施。
○買物弱者対策として食料品や日用品等、曜日によっては野菜や鮮魚の販売を実施するとともに健康・栄養相談やまちライブラリー（図書館）機能を併設し、高齢者、子ども等が集えるサロンを設置し、利用者及び売上が増加している。

<参 考>

売上額 2.5 倍増（平成 27 年 11 月約 50 万円/月、平成 27 年 6 月約 20 万円/月）

レジ客数 2 倍増（平成 27 年 11 月 1,440 人/月、平成 27 年 6 月 730 人/月）

○現在、店舗周辺の高齢者等の買物弱者の方々からは「健康のための散歩ついでに店舗で商品を購入しに来た」、「近所の人と会っておしゃべりをする場ができた」など声がある等、副次的効果も出ている。

○食品、日用品等の配達については、今後、自治会を通じて周辺住民のニーズを把握した上で、障害者等の方の就業訓練として実施予定。